



山頂広場のでいらぼっちゃ展望台から



ジャンボ滑り台降り口からの夜景



視界を遮っていた木が伐採され、眺めと共に広々と感じる室山山頂展望広場



山頂展望広場 「パノラマビュー」が復活

4月から実施されていた「室山アグリパーク山頂展望広場環境整備事業」が5月末で終了し、広場の東斜面に茂っていた約180本の支障木が伐採されました。それまで山頂広場にある「でいらぼっちゃ展望台」からも見ることができなくなっていた、安曇野の抜群の眺望が帰ってきました。



東側公園内でも除草や生垣などの剪定が行われた

7月中旬に開放予定
のジャンボ滑り台



室山アグリパーク山頂展望広場環境整備事業 (平成23年度緊急雇用創出事業)

事業概要

- ・山頂展望広場東側林地伐採 (約4,500㎡)
- ・防護フェンス設置工事 (88m)
- ・東側公園内除草、剪定 (藤棚・生垣)

事業期間 4月15日～5月31日

事業費 2,625千円 (税込み)

請負 公益社団法人安曇野シルバー人材センター

安曇野や松本を一望できるロケーションという、本来室山が持っていた魅力が復活し、更に植栽プロジェクトの活動などと共に、観光客はもちろん地域、地元の皆さんに長く愛される公園を目指して、室山アグリパークが再生します。

再生へ。 室山アグリパーク

身近な公園施設として親しまれてきた「室山アグリパーク」。平成4年の開園から20年近くがたち、観光の目玉の遊具撤去や山頂は赤松の成長により自慢の眺めも遮られたりと、その再整備が求められていました。そんな室山アグリパークを、愛着のもてる公園にやみがえらせるため、このほど2つの取り組みが行われ「新たな市民の憩いの場」への第一歩が踏み出されました。

ボブスレー跡地を遊歩道に

室山アグリパーク環境保全型広域観光拠点づくり事業実行委員会（大倉隆雄実行委員長、市商工会三郷支部などで組織）は、「桜・もみじ植栽プロジェクト」を5月15日に開催しました。

これは、旧ボブスレーコース跡地を、春には桜、秋には紅葉の楽しめる遊歩道として、より市民に親しまれる自然公園の一部にするため整備したもので、平成23年度長野県地域発元気づくり支援金が活用されました。

また、公園に愛着を持って成長を見守ってもらおうと参加型にし希望者を募ったところ、この日はファインビュー1室山の宿泊客や市民、関係者166人が参加。室山東側の旧リフト乗り場

旧リフト乗り場で作業前に記念撮影

から山頂までの約600mに、桜ともみじ80本が植えられました。

参加者は、気温も上がり大変暑く感じる陽気の中、汗をふきながら植え終ると、それぞれ自分の名前やメッセージを書いた木製プレートを取り付け、記念撮影をするなどしていました。

両親や弟と一緒に参加した、三郷小4年の増田風さんは、「植えるのは少し大変だったけど、咲くのが楽しみ。来年の花の咲くころには、家族みんなで来てみたいですよ」と話していました。また三郷中学校PTAでは、これに併せて「東日本大震災復興祈念樹」を登り口に植栽。それぞれの思いが込められました。



市商工会三郷支部を中心に構成された「室山アグリパーク環境保全型広域観光拠点づくり事業実行委員会」は、5月15日、旧ボブスレーコース跡地に桜ともみじ計80本を植栽。この日は市民など166人が、ふもとから山頂まで約600mのコースに沿って作業を行った。